



## 水稲採種組合が 50 周年！



当別町水稲採種組合が設立から 50 年の節目を迎え、田西会館で記念式典が開催されました。同組合は昭和 44 年の設立以来、高純度で良質な水稲の種子を生産。現在は 12 戸の生産者が「ななつぼし」などの北海道米の種子を全道に供給しています。式典では、高野秀則組合長が歴史を振り返りながら、今後も優良な種子を安定して生産するよう誓いを述べていました。 (11月22日)

## ことぶき大生が石けんづくり



町教委が主催する「ことぶき大学」では、月 2 回講座などを通して、仲間と生きがいづくりを楽しんでいます。この日は講師を招いて、アロマとハーブを使った「手ごね石けん」づくりを体験。ビニール袋に入った粉状の石けん素地にオレンジの香りの精油とお湯を入れてこね、耳たぶの硬さになったら型に入れ、数日間自宅で乾燥させて完成です。参加者は会場に漂うアロマの香りに癒やされながら、「美容効果があるから洗顔用に」「部屋に飾って香りを楽しみたい」など使い方の話題も広がっていました。 (12月6日)

## 冬を明るく照らすロシア



スウェーデン交流センターで毎年恒例の「ロシア祭」が行われました。ロシア祭は毎年旧暦の冬至にあたる 12 月 13 日に「聖女ルシア」の聖名祝日を祝うスウェーデンの伝統行事。今回ロシアを務めたスウェーデン人のテレース・カールソンさんは 10 月に来日し、交流センターの職員として働いています。ロシア役のカールソンさんと、町内の 12 人の子どもたちによる「ロシア隊」が聖歌やきよしこの夜などを、スウェーデン語と日本語で披露。優しい歌声で、会場はあたたかな雰囲気になっていました。 (12月8日)



**FIKA で手軽な工作教室！**



FIKA で工作教室が行われ、空き缶でキャンドルホルダーを作りました。参加した嶋守<sup>しまもり</sup>さんは、自宅で猫を飼っているのでも猫のキャンドルホルダーに挑戦。画びょうで缶に穴を開けて、丁寧に周りをくり抜いて作っていました。「画びょうで穴が開くので、思った以上に簡単に作ることができた。実際にろうそくで明かりをとると、また違った雰囲気になって面白かった」と嶋守さんはお話してくれました。完成した作品を並べてクリスマス気分を味わいながら、楽しいひと時を過ごしていました。(12月13日)

**早く花咲けチューリップ**



多世代交流「チューリップ栽培体験（町教委主催）」が行われ、町内の親子とことぶき大生が参加しました。講師の花き農家・山脇正春さん（弁華別在住）は、当別では花き農家8戸で約50品種のチューリップを出荷していると説明。「ゆみこ（黄色の花）」と「ももたろう（桃色の花）」の品種の球根を植えるコツなども参加者<sup>ちもくちもく</sup>へ伝えました。真剣な表情で黙々<sup>あつき</sup>と土を入れるのは2歳の山内純輝くん（母：麻純<sup>ますみ</sup>さん）。鉢植えが終わると、純輝くんは鉢を抱えて「楽しかった」と満足気な表情を見せてくれました。(12月18日)



廣 告

廣 告

廣 告

廣 告